

事務事業名 魅力あるふるさと観光ガイド事業（ふるさと雇用）

政策:03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策:03 観光の振興	部名:経済環境部
基本事業:01 観光事業推進体制の整備	課名:商工観光課

計画年度	平成21年度	～	平成23年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
観光客				以前より要望のあった観光ガイド（コーディネイター）を、県の実施する養成講座に参加させて観光ガイドとしての能力を伸ばしながら設置雇用しました。観光客へのサービスの拡大を図るため、市全体の魅力を伝える新たな観光資源の創出、観光資源の調査を実施し、また外部連携先等への適切な橋渡し等を行いつつ、山武市の自然文化、歴史、産業等の魅力を肌で感じられる観光コースのコーディネート事業を委託事業として行いました。 委託先：山武市観光協会				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
魅力ある観光スポットや観光コースがコーディネートされ、魅力ある山武市のPRが図られて観光客の来遊が増加する。								
4 活動指標・成果指標・事業費の推移								
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標①	観光ガイドがガイドした回数			回	0	5	5	-
活動指標②	観光コースコーディネート数			コース	0	3	3	-
成果指標①	入込み調査			人	2,241,773	2,237,077	2,250,000	-
成果指標②								
事業費				千円	0	3,318	4,412	
うち一般財源				千円	0	0	0	
5 目的妥当性								
☐ 法定受託事業である（根拠法令→） ☒ 妥当である ☐ 妥当性が低い				観光客の来遊を図り、またふるさと雇用再生対策として失業者を雇用する。				
6 上位の基本事業への貢献度								
☐ 貢献度大きい（理由→） ☒ 貢献度ふつう（理由→） ☐ 貢献度小さい（理由→） ☐ 基礎的事務事業				市のイメージアップ 観光客の増加				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討								
☐ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ☐ 対象や意図の見直しはできない ☒ その他				21年度開始事業のため今後の推移による。				
8 有効性（成果状況）								
☐ あがっている ☒ どちらかといえばあがっている ☐ あがっていない				観光コースの新たな開発等による。				
9 有効性（成果向上余地）								
☐ 成果向上余地・大 ☒ 成果向上余地・中 ☐ 成果向上余地・小・無し								
10 事業の再編成								
☐ 類似の事業があり、再編成できる ☒ 類似の事業はあるが、再編成できない ☐ 類似の事業はない				食虫植物園観光ボランティアガイドがあるがそれに特化しているため再編できない。観光コーディネイトの一部として活用してゆく。				
11 効率性（コスト削減の方法）								
☐ ある ☒ ない				21年度新規事業のため今後の推移による				